

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	株式会社 響	代表者	井上和弘	法人・事業所の 特徴	27年6月に開設した事業所です。2階にサービス付き高齢者住宅を19床併設しており、住宅、在宅と生活スタイルに応じた支援を目指しています。医療との連携を重視しており、看護師常在はもちろん、24時間医療と連携ができる体制を整えています。
事業所名	小規模多機能ホーム 三町	管理者	山路清美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0 人	0 人	1 人	1 人	1 人	1 人	0 人	3 人	0 人	7 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	介護保険のしくみや、小規模多機能型居宅介護について理解したうえで、本人主体の支援を心掛けることができるよう、事業所として取り組んでいく。今後もサービス評価の内容を意識して仕事に取り組めるよう、申し送りや職員会などで工夫していく。	職員会等で、介護保険の仕組みや小規模多機能型在宅介護の勉強会を行った。ケアプランを理解し、意識したうえでの支援に心がけた。申し送りなどで情報を共有しチームケアに務めることができた。	個人の評価を拝見し、よく取り組まれていると思う。研修にも参加され、自己研鑽されている。自己評価はなかなか難しいと思う。また、初めて民生委員をするにあたり、わからない事が多く、いい加減なことは書けないと思った。	事業所自己評価の目的などを理解し、サービス評価の内容を意識して、支援に取り組めるようにしていく。利用者、家族の意見も取り入れた見直しを行う。(アンケートを実施する)
B. 事業所のしつらえ・環境	来訪者だけでなく、利用者や職員にとっても居心地の良い事業所であるよう、一人一人が意識して環境整備等していく。	玄関先や施設内に利用者と一緒に作った季節の飾りつけなども飾っている。環境整備、掃除などして居心地の良い空間作りに務めた。	入りやすい工夫はされていると思う。においもきれい。居心地がいいかは利用者には聞かないとわからないが、個人的には居心地がいいと思っている。他施設では利用者がむずかしい顔をしていると聞くことがある。日中、玄関に鍵がかかっているのは、開けておきたいが離設される方がいるので、安全面を考えて施錠していると聞いた。	一人一人が感染対策、環境整備を意識する。来訪者、利用者だけでなく、職員同士も気持ちのいい挨拶を心がける。清潔保持、安全確認を日常的に実施する。
C. 事業所と地域のかかわり	事業所がわかりやすくなる工夫をする。(看板を設置する、パンフレットの地図など)地域資源を発掘しながら、地域の行事などへも参加していく。	わかりやすい看板は設置できていないが、玄関先には看板を立て掛けている。地域の行事では、かまど神社の夏祭り、秋祭り、公民館での消防訓練などに参加した。今後も、地域資源の発掘に務めていきたいと思う。	認知症カフェ心音も少しずつ地域の方に知れ渡ってきているように思う。1区は7割、2、3区は遠いので心音のことを知らないかもしれない。スタッフの接し方、あいさつも評価できる。	地域の方に少しでも知ってもらえるように、認知症カフェ心音のチラシを、回覧板で地域住民へ周知し、また公民館などにも配布する。地域資源の利用、発掘にスタッフみんなで取り組む。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	外部の困りごとはもちろん、事業所の困りごとを、地域へ発信して一緒に解決していけるよう話し合っていく。できる範囲で、近隣の困りごとがある方の相談をお聞きしていく。	認知症カフェ心音に地域住民の方が数名参加してくださり、お話することができた。利用者の家族の困りごと、相談などはお伺いし、解決できるように一緒に考え取り組んだ。	11月から初めて民生委員をするので、まだよくわかっていない。独居の方に声掛けは大事だと思っている。利用者を連れて外出や外食もされていると思う。地域の行事にも参加され、運営推進会議も開催されている。	スタッフみんなが利用者と共に、できる範囲で地域の行事に参加する。ご近所の方に積極的に声掛けし、困りごとがあれば相談をお聞きする。

E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議と合同でできることを検討する。 事例検討会を開催出来る様努力する。	限られた人数のスタッフしかいないため、日々の業務が優先となり、運営推進会議と合同でできることを検討できなかった。事例検討も実際のところできていない。運営推進会議の日に、避難訓練実施を検討している。	事例検討できているかはわからない。運営推進会議で出た意見を改善につなげていると思う。事業所の取り組みがわかりやすく、写真等で説明もきちんとできている。	参加者の出席率の向上ため、(地域住民や家族)事前案内を徹底する。事例検討会を検討する。運営推進会議で避難訓練を実施する。
F. 事業所の防災・災害対策	災害時のストックを徐々に増やしていく。災害の研修等へ参加し、知識や技術を学ぶ。	大きな法人は備蓄もできているが、三町は災害時の食料や水のストックは保管場所もないので、あまりできていない。食料も大事だが、簡易トイレ等の排泄が一番の課題かもしれない。発電機など必要だとは思いますが高額のため購入できない。今後はBCP訓練や災害時の研修会などに積極的に参加して行きたい。	災害時、事業所を頼りにしたいが難しいだろう。現実的には何もできないが本音かもしれない。	災害時の研修等の参加の機会を増やし、技術や知識を学ぶ。松山市や町内会の避難訓練や勉強会にも積極的に参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年12月26日 (19:30～20:30)
------------------	-----	--------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	松田、村田、北吉、山路、正岡、松山、崎岡、佐々木、渡部 アジヤ、ラチャ、サリタ、ライ、境、渡部、山下、竹田、村井
-------------------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5	11	1	1	18

前回の改善計画	利用開始時に、スタッフ一人一人が意識して関わりを持ち、ご本人の情報やニーズを日々聞き取り、記録に残し共有する。早く慣れて頂けるよう、利用者同士の橋渡しをする。
前回の改善計画に対する取組み結果	申し送りやタブレットの記録を活用し、情報の共有が出来た。利用者が不安な時は声掛けや傾聴を意識して関わる事ができた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	10	2	0	18
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5	9	3	1	18
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	8	9	1	0	18
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	8	6	4	0	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
慣れていない時の関わりを多くし、心配や不安を少しでも取り除けるように意識して関わりを持ち声掛けをしいる。タブレット内や朝、夕の申し送りで情報を共有出来ている。利用者同士のコミュニケーションの橋渡しが出来るように、日ごろからよく観察するようにした。ご本人や家族に声掛けし、話しやすい関係作りを心掛けた。面会時や電話で利用者の近況報告をした。意識して関わりを持つように心掛けた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
利用開始時の情報の読み込みが不十分の為、ニーズについての理解や細かい配慮にかけている。日本語の理解が難しい。業務に追われ一対一で関わる時間やゆっくり話をする時間が十分に取れない。すべての職員が家族と関わりを持つ事がないため、知らないこともある。ご家族の不安を受け止めているかわからない。申し送り事項が遅出に伝達、共有出来ないように感じる。短時間勤務、夜勤専従の為、接する時間が少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用開始前にあらかじめご本人の情報やニーズを理解し、意識をして関わりを持つようにする。また、情報はスタッフ間で共有するため、申し送り事項は必ず確認をする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年12月26日 (19:30~20:30)
------------------	-----	--------------------------

2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	松田、村田、北吉、山路、正岡、松山、崎岡、佐々木、渡部 アジヤ、ラチャ、サリタ、ライ、境、渡部、山下、竹田、村井
--------------------------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1	10	5	2	18

前回の改善計画	日々の支援の関りの中で、本人の目標を聞き取り、聞き取った本人の目標が実現出来るよう支援する。
前回の改善計画に対する取組み結果	目標実現が出来るように、日ごろからコミュニケーションを取り関わる事が出来た。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2	9	5	2	18
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	11	4	2	18
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	7	6	3	18
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	8	5	3	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者とのコミュニケーションを取り、やってみたいこと、好きなことを聞いて支援出来ている。散歩や外出支援などが出来ている。変化や様子を職員間で共有出来ている。無理のない範囲の支援をした。日々の関わりの中で目標実現を意識した声掛けが出来ている。ゆっくり話を聞くようにした。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
変化を拒む利用者に対して目標はわかっていたが実行できなかった。均一の介助を行っている時もある。気分や体調によって支援が継続出来ないこともある。訴えの少ない利用者のケアが十分出来ていないように思う。ご本人が～したいと発しないのにこちらが押し付けていることもある。介護する側の視点で考えてしまっている。話をもっとしっかり聞くべきだと思う。かかわった内容を発言し、次の対応に生かしていない気がする。長期目標を知らない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者の目標を職員間で共有し見直す。変化や希望があれば記録し支援につなげる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年12月26日 (19:30~20:30)
------------------	-----	--------------------------

3. 日常生活の支援	メンバー	松田、村田、北吉、山路、正岡、松山、崎岡、佐々木、渡部、アジヤ、ラチャ、サリタ、ライ、境、渡部、山下、竹田、村井
------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	5	10	1	2	18

前回の改善計画	状況に応じた対応、支援が出来るよう報告、連絡、相談を重視し、多職種連携をしていく。過剰介護にならないよう、ご本人の力(エンパワメント)を活用した支援をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者一人一人に目を向け、日常の変化に気を付けて観察、声掛けをすることで、体調や状況に合わせて対応出来た。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	1	2	13	2	18
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3	12	2	1	18
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	11	5	1	18
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	7	10	0	1	18
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	6	10	1	1	18

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
不穏になりそうな利用者にスタッフが連携を取り即時対応出来ている。日常の変化に気づけるようによく観察し、声掛けや見守りが出来た。自立を促し出来る事はしてもらっていると思う。多職種連携出来ている。すべてを介助するのではなく、本人の力を活用した支援を意識している。体調や状況に合わせた食事形態に対応している。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
以前の生活歴や情報を十分に把握できていない、また10個以上知らない。把握できているスタッフと出来ていないスタッフの差がある。スタッフの思い込みで本人本位でない支援になる事がある。フェイスシートや以前の記録を見るが覚えていない。素早い対応が難しい。情報量が多く中々理解しにくい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者の基本情報を全職員が確認し、新しい情報は共有し支援につなげていく。また、その時の体調や状況に応じた支援が出来るように、日ごろから観察する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年12月26日 (19:30~20:30)
------------------	-----	--------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	松田、村田、北吉、山路、正岡、松山、崎岡、佐々木、渡部 アジヤ、ラチャ、サリタ、ライ、境、渡部、山下、竹田、村井
---------------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	7	4	3	18

前回の改善計画	地域資源や今までの生活スタイルを把握し、ご本人とこれまでの関係をつないでいけるよう努力する。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご家族から以前の生活スタイルなどを聞き取り、本人を取り巻く事柄について理解し支援につなげる事が出来た。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	9	2	4	18
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	10	1	4	18
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	4	5	5	4	18
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	7	3	6	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
心音やイベントが出来ている。利用者や家族に挨拶出来ている。家族に日ごろの様子を伝えることが出来ている。サービスの利用以外の日も記録によって把握している。コーヒータイトムや脳トレのレクの時間にこれまでの生活スタイルや人間関係を聞き取る事が出来ている。散歩で地域の子供と交流した。本人取り巻く事柄について理解したうえで支援出来ている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
民生委員さんを知らない。自宅でのことを知らない。施設外での関わりを知らない。地域資源について理解が十分でない。家族とは関わっているが、友人や社会資源までたどりつけない。地域資源をもっと調べて活用したらいいと思う。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域のサービスも調べて必要時に活用できるようにする。認知症カフェ心音を継続し、今後もご家族や地域の方とも交流していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

令和7年12月26日 (19:30~20:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー

松田、村田、北吉、山路、正岡、松山、崎岡、佐々木、渡部
アジヤ、ラチャ、サリタ、ライ、寛、渡部、山下、竹田、村井

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	7	3	5	18

前回の改善計画

記録を今まで以上に詳細に残し、地域資源とつなげていく。ミーティングを開催し、スタッフへ共有していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

タブレットを活用し、記録を詳細に残している。ミーティングにて情報共有出来た。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	5	5	4	4	18
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	8	1	3	18
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	8	5	3	2	18
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	8	5	4	1	18

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

気づきを記録し共有出来ている。ドックセラピーなど地域資源を使っている。本人の状況に応じて通い、泊り、訪問が出来ている。ニーズに応じたサービスが提供出来ている。情報共有し関わられていると思う。変化に対する共有や対応が出来ている。見て感じ取れる状況を大切に接している。とくし丸、カットなど支援出来ていると思う。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

申し送り事項が多くて読めていない日がある。一部の利用者には関われるが、全員とは行かない。つい見過ごしてしまっている。買い物は人手不足で毎回は対応出来ない。細かいチェックが出来ていない。記録の書き方に慣れていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

日々様子を記録し、気づいたことは職員で共有する。変化があればすぐに対応出来るようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年12月26日 (19:30~20:30)
------------------	-----	--------------------------

6. 連携・協働	メンバー	松田、村田、北吉、山路、正岡、松山、崎岡、佐々木、渡部、アジヤ、ラチャ、サリタ、ライ、境、渡部、山下、竹田、村井
----------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	6	3	6	3	18

前回の改善計画	地域の活動やイベントに参加し、また三町の心音や行事に来ていただけるよう、周知していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	夏祭りなどの参加や、認知症カフェ心音を開催し地域の方々に参加いただいた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	6	4	3	5	18
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	3	2	11	18
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	1	1	7	9	18
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	4	6	7	18

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
地域の行事である、夏祭り、お祭り、消防訓練に参加している。心音で交流出来ている。また、地域の方の参加も時々ある。ご近所の方がお花を持って来て下さる。医療機関とは個々の状態把握に務めている。お祭りにトイレを使用してもらった。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
自治体や包括の方と関わりがない。全スタッフが町内会の行事に参加出来ていない。施設内のみの業務なのでわからない。地域との関わりがあまりない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域のイベントや町内会の行事に参加し、交流を深める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年12月26日 (19:30~20:30)
------------------	-----	--------------------------

7. 運営	メンバー	松田、村田、北吉、山路、正岡、松山、崎岡、佐々木、渡部 アジヤ、ラチャ、サリタ、ライ、境、渡部、山下、竹田、村井
-------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	10	1	3	18

前回の改善計画	事務所外での困りごとを聞き取り、一緒に考えていく。職員一人一人の些細な意見も大切に聞き取り、検討していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員の意見も聞き取り改善に努めることが出来た。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	6	7	5	0	18
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	10	2	1	18
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	6	1	7	18
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	2	6	3	7	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>気になる事があればその時に上司に伝えることが出来ている。チームで協力している。利用者の声を受け入れる。話を最後まで聞く。話を聞いて問題を解決しようとした。行事には家族も参加してもらっている。心音を開催することで、地域の方の相談の場になりつつある。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>自分の意見が十分に言えない。踏み込んだ話はしにくい。地域の取り組みを知らない。なじみなく積極的とは言えない。地域の活動に積極的に参加出来ていない。日本語で上手に言えない。事業所のあり方についての意見は出来ていない。地域と協働した取り組みは出来ていない。余裕がない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>職員一人一人の意見を聞き、尊重し、職場環境の改善を目指す。事業所外の地域の困りごとなどにも関わりを持ち、一緒に取り組み考えて行く。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年12月26日 (19:30~20:30)
------------------	-----	--------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	松田、村田、北吉、山路、正岡、松山、崎岡、佐々木、渡部 アジヤ、ラチャ、サリタ、ライ、境、渡部、山下、竹田、村井
-----------------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6	5	3	4	18

前回の改善計画	向上心を持ち、研修や職員会に参加し、研修報告にて共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	研修報告は職員会で共有出来ていた。スキルアップは年齢のこともあり、出来るスタッフ、難しスタッフがいた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	6	7	3	2	18
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	6	4	3	18
③	地域連絡会に参加していますか	2	0	6	10	18
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5	9	1	3	18

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
リスクマネジメントに取り組んでいる。動画研修に参加し、向上心を持って取り組んでいる。社内会議や研修に参加している。報告がきちんとされている。小さなヒヤリハットもスタッフ間で共有出来ており職員会で話し合いが出来ている。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
忙しくて研修を忘れてしまっていた。個人的な学習時間が不足している。地域連絡会に参加していない。自分にあった研修がわからない。研修後の報告、情報の共有が出来ていない→職員会で報告している。年齢のこともあり前向きに研修に取り組めない。勤務に余裕がなく参加できない。外部研修に行く足がない→車で乗りあって参加。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
一人一人が向上心を持ち、積極的に研修などに参加し自己研鑽する。研修したことは職員会で報告、共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年12月26日 (19:30~20:30)
------------------	-----	--------------------------

9. 人権・プライバシー	メンバー	松田、村田、北吉、山路、正岡、松山、崎岡、佐々木、渡部、アジヤ、ラチャ、サリタ、ライ、境、渡部、山下、竹田、村井
--------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	10	6	0	2	18

前回の改善計画	利用者本位の支援を常に意識し、自分自身の支援を振り返り、虐待や身体拘束についての意識を高める。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員同士で、行った支援がよかったのか、悪かったのかを話し合いお互いの意識を高めることが出来た。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	16	1	0	1	18
②	虐待は行われていない	14	3	0	1	18
③	プライバシーが守られている	12	5	1	0	18
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6	2	3	7	18
⑤	適正な個人情報の管理ができている	12	5	1	0	18

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
トイレや入浴時のプライバシーを守っている。利用者本位の支援に心がけている。他利用者が他の利用者の個人的な事を聞いても答えないように気を付けている。社会的責任を自覚している。身体拘束、虐待と言う言葉を理解している。安心するような声掛けと丁寧な介助することを心掛けている。社会的責任を自覚している。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
言葉の虐待に直接ダメと言えない。便が出た、出ていないと大きな声で話している。大きな声で利用者についての話をスタッフ同士でしている事がある。利用者に対してなあなあになっていることがある。成年後見制度を理解しているが活用しているのか知らない。プライバシーに欠けた行動を知らぬ間に取っているのかもしれない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
虐待や身体拘束、不適切なケアについて話し合ったり、指摘しあえる環境づくりをする。利用者本位の支援を意識し心掛ける。	